

環境技術実証事業 ヒートアイランド対策技術分野  
(地中熱・下水等を利用したヒートポンプ空調システム)

## 実証対象技術の募集について

### 1. 実証対象技術の募集方法

実証対象技術の募集は次の方法による。

#### (1) 事前の予告案内

- ①地中熱利用促進協会のニューズレターによる予告案内 約 550 ヶ所 3月29日発送済
- ②興味のある事業者等にメールで予告案内 約 40 社 4月2日から発送済
- ③全国の都道府県、大規模自治体の関係部署にメールで案内 約 100 ヶ所 準備中
- ④地球温暖化防止展(5月22日～25日 東京ビッグサイト) 協会のブースでビラ配布

#### (2) ウェブサイトによる募集案内

次のウェブサイトで募集案内を公表する。

- ①地中熱利用促進協会のウェブサイト
- ②環境省の報道発表

### 2. 募集のスケジュール (案)

#### (1) 予告案内に対する反応

- ①実証単位(A)は3件の問い合わせがあった。しかし申請の実現は厳しい。  
測定器が設置してあるシステムが少なく、国等の他の予算で設置したものが多い。
- ②実証単位(B)は4件の問い合わせがあった。そのうち2件は申請が有望。  
ヒートポンプメーカーには ETV 個別ロゴマークの効用が認識されてきたらしい。
- ③実証単位(C)は2件の問い合わせがあった。1件は申請が有望。  
いずれもU字管メーカー。地中熱交換部の客先、施工業者等とのスケジュール等を調整中。

#### (2) 募集スケジュールの考え方

- ①採択予定の実証対象技術数： 2～4件(実証単位により異なる。)
- ②申請が有望な案件が増えてから、募集を開始したい。
- ③実証単位(A)の試験を7月末に開始できるタイミングまでは、募集活動をしたい。  
募集開始は、6月下旬がリミット。
- ④実証単位(B)、(C)は試験季節の制約はないので、もう少し予告案内活動をしたい。
- ⑤応募案件が少ない場合は、実証単位(B)、(C)について募集活動を継続し、申請が有望となった時点で追加募集をしたい。

### 3. 募集要領 (案)

ウェブサイトで募集案内をする文案は、資料3-2のとおり。